

池田と眞徳十人へ

6年之組 柿沼 良太

戦争の伝わりす、気持が分かってきました。

講演を聞いていて、話して

いくと、だんぜん心が

感じて、戦争のこわさ、

もしも、自ハカが戦争に

ま持ち込まれたら、みんなに

会えないかもしれないと

思いました。

戦争は、もう二度としないと

いうことを約束し、ずっと

平和でいたいのです。

ほくは、戦争は戦うことですが、

なぜ広島や長崎で戦争しなくては

いけないのか、気になりました。これから、

がんばってください。

年 組 (堀誠太)

原はくのことを話してみたりなあーと思いましたが。
これからもお体に気を付けていろいろだよん
にお話をしてくださーい、死んでくれています。
フレィフレィ池田さん。

池田七良徳(さんへ)

6年2組 (堀誠太)

ぼくは国語の時間に少しは原はくの勉強をしたけれど池田さんのお話を聞きまして、あつたのわしいことが分かりました。原はくはただの爆薬8008で広島全体を燃やしてしまったんですよ。それでもこれと聞いて思いました。その時広島は人がたてた人死んでいて助けようとしても皮肉がはがれるなんてけんとうもつきません。しかも建物は全てまっくらこげやんでありえなくて、近頃の川では人がたてた人死んでいるなんて相想像もつがないけれどこれ聞いて思いました。これだけのことをして人のうちに起こしてしまふ原はくは本当におそろしいなよーと思いました。

世界で日本しか原はく投下されてないのに日本しかそのおそろしさをあまりしらないのと思ふからぼくは世界のいろいろな国に

六年二組 (須田 カズキ 一樹)

ぼくは原爆はこの世界にあってはぜる体
 に、ためだと思いましたが。原爆一つで
 たくさんの人がその原爆によって死んで
 行く。そしてたくさんの家族ががらなしん
 でしまします。それとどつとして日本だけ
 が原爆を落とされたのを、また
 この学校に池田さんが来たら、おしえ
 てください。そして、この戦争・原爆
 の恐ろしさをほかの学校にもおしえ
 てあげてください。

それと、ぼくはヒロシマの九日間の
 話を聞いて、いろいろな戦争・
 原爆の恐ろしさを知りました。
 ありがとうございます。

池田 貞徳さんへ

六年二組（須田 一樹）

ぼくは池田さんと会う前までは戦争の
こと、別にそれほど怖くはないと
思っていました。でも、池田さんと会って、
ヒロシマの九日間を^{読んで}読んだとき、初めて
戦争はこわくて、恐ろしいな、と思いました。
とくに「ピカ」と光りが出た時、町のほと
んどが火の海になって、人が死に、そして生
きている人も人ではなくなると、顔がとけ
かあがはがれおちてる、そんな人を目の前
で見ると、きつたら、どうしようもなかったすけであ
げたいけど、むりだとゆうことになったら、
かなしいあまり、パニックになってしまいます。
そして人は手を前に出して歩いて、泣き
ではなく、うめきと声をだしている人を、田バ
イコウがズると、恐ろしい、そして、たすけてあ
げたいと、ゆづつと、強く感じました。

池田と眞徳さんへ

6年2組(三井 恵)

この間は、野方小に来て、原爆の怖さを
教えてくれたさり、ありがとうごさいます
した。教科書のヒロシマのうたでは、少し
だけ原爆のことが分かりました。その後
池田さんの話を聞き、もっとくわしく原爆の
ことが分かりました。戦争で罪のない人が
苦しむのは、かわいそうだと思います。

世界で日本だけ落とされている、原爆
の怖さは、日本人しか知らないのだから、
他の国の人にも、原爆の怖さを教えて
あげて、二度とこのようなことがないよう
にするのが、原爆を落とされた日本人の
役目だと思います。私も家族や、知っ
ている人に伝えたいと思いました。

これから、お体に気を付けて、原爆の
怖さを伝える仕事、がんばってください。

池田 眞徳 さんへ

6年2組（結城 日菜）

この前は、「ヒロシマの九日間」についてのお話をしてくださいまして、ありがとうございます。おかげで、原爆の事がよくわかりました。私は、ついこの前まで、原爆のことをよく知りませんでした。でも、教科書にのっていた、「ヒロシマのうた」や、池田さんのお話を聞いて、前よりは、わかるようになりました。たとえば、原爆をおとされた人たち、後のヒロシマのじょうきょうや、ひ害、ほうしゃ線をあびた人々のケガのこと、その他にも原爆の力の強さなどがよくわかりました。しかもこのお話は、池田さんのお父さんが本当に見たことををお話ししてくださりました。私は、こんなにおそろしいじょうきょうがあったと信じたくないぐらいとても怖かったです。あらためて、原子爆弾はおそろしい怖い器だと実感できることができました。本当にありがとうございます。

池田眞徳さんへ

6年2組 (木林雄浩)

ぼくは話を聞くまでい原爆のことは
良く知らなかったけど池田さんの話を
聞いてゴルフホール一個ぶんの火落木だけ
であの面積をまわるところに
まうなんて原爆はすごいんだなと
思いました。あとなんで火傷し
た所にウジムシがよってくるのが不思議
に思いました。池田さんのお父さんは
こんな所に九日間もいたなんてすごい
と思いました。サ洛とサカレともうすぐ
六十二年たつけどそのことは日本中で
忘れられないうことだと思いました。
一時間お話ししていただきありがとうございます
ございました。

池田眞徳さんへ

6年2組 (山田 大貴)

この前は、ぼく達のためにわざわざ三鷹が
ら来て下さった。ありがとうございました。

ぼくはこのママのうたを読んでびっくりしてしま
たんことを想像したらかなり気持ち悪くて
本当にこらえたのかなと思いました。ぼくは
これほどに人がなっています。たのだから原爆
は初めて原爆の威力を知りました。ぼくは
本当に初めて戦争はこれほど悲しいこと
だと思いました。ぼくは今まで、戦争はそ
んなに悲しくないな、と思ってきました。けれど、池田
さんのお話を聞いてそれは、さすがに、たと
うことが分かりました。

本当にこの前は、戦争は悲しいという
ことを、教えて下さってありがとうございました。
ましました。

池田と眞徳さんへ

六年二組（山村眞依子）

わたしは、原爆が日本に落とされたんだあとしが
思っていますんでした。でも授業でヒロシマのうたを
よんで想像できないくらいこわかったんです。
金曜日に池田さんがいらしてヒロシマの九日間
の話をしてくださいました。ヒロシマに原爆
が落ちたときのことかよくわかりました。その中で
一番おもしろいのは、川から集収所に集める
というところです。人間を集めて、燃やすという
のは、とてもこわいです。いつもの生活では、相
像もつかないようなことが戦争になる
と当たり前前のようになってしまうんだ
と思いました。なのでわたしは戦争は、
やめてほしいと思いました。

池田さんの話をうかがい、教科書よりもくわし
いことがわかりました。話をしてくださって
ありがとうございます。

池田貞徳さんへ

6年2組 (東由美)

わざわざ野方小学校に来てくださりありがたうございました。わたしは教科書でヒロシマのうたを勉強し、その中ではあまり戦争はこわいぐらいしか思っています。でも、今一回お話を聞いて、一番心に残ったのは、ゴルフホールくらいの大キチの火落木でヒロシマが焼け野原になってしまったと聞いてびっくりしました。いつもテレビでやってるゴルフのホールで焼け野原になってしまつと考えるとも、あのホールか、火落木だらけだと考えるとてつもないおそろしくなれます。私は池田貞徳さんの話を聞いてとてもよかったです。教科書じゃ学びたいことがたくさんあり、とてもうれしかったです。このことを生かして、戦争をくりがえさないようにしていきたいです。

池田 七真徳 さんへ

六年二組 (石貝来昌一郎)

原爆をよく聞かされた。よくは原爆のことをよく知らないで「原爆ってこわいな。」

と言っていました。でも勉強が池田さんのお話で原爆がとれたけおそろしいのかがわかりました。

持たすい、土界くまで、あつい熱が来て体が全うなわけじ、ち、て体のかあかはがえ、て肉が見えるな、んて考えた、とせな、かったの、ま、つも頭がりはなれま、ん。

「よくば、このお話を聞いて原爆に興味を持ちました。そこ、と、ん、な、に戦争が、こ、あ、い、と、か、が、あ、り、ま、し、た。ま、の、で、今、つ、戦、争、を、い、こ、の、国、を、あ、め、ま、ら、す、な、。

池田七目徳孝六

6年2組 (内山柚梨)

この間はおいそがしい中、野方小にいらしてくださり
ありがとうございました。池田さんのおかげで、ヒロシ
マの九日間のことが少し分かったような気がし
ます。その戦争の時とはとても異なり中、たくさん
の作業をいしても大変だったことで
しょう。そのヒロシマを多くの死人が
出たりしたのなとても悲しいことだ
と私は思っています。

これからもたくさんのお仕事があ
ると思います。これからもいまだ野
方小にいらしてまたまたいってら
ない。

池田 眞徳 さんへ

六年二組（森島 葉里）

このまえは、分かりやすくわたし達に講演をしてくださいありがとうございました。わたしは「ヒロシマのうた」でよく分からなかった原爆のことがより深く分かりました。原爆は、とてもこわいものなんだと感じました。池田さんが持ってきたゴルフボールくらいの大きさだったなんてわたしは知りませんでした。だからその話をしてくれた時、すごくおどろきました。

また、広島のことがよく分かりました。わたしは今まで広島は原爆がおちた所というだけであまり関心がありませんでしたが、池田さんのおかげで、広島のことを考えるようになるようになりました。 「ヒロシマのうた」から「ヒロシマの九日間」により深めてくれた池田さん、本当にわざわざありがとうございました。

池田さんの講演でいろんなことを感じるこ
とができました。

池田 眞徳さんへ

6年2組（浅利亮太）

池田さんが言ってくれたヒロシマの
原爆の事をおっしゃってぼくは、原爆の
こわさを知りました。ぼくは、いままで

戦争も原爆の事は、あまりよくしりません
でした。でも池田さんの話を聞いて原爆
のおそろしさがわかりました。原爆の落と
した中心の場所の温度は、なんと百万度
といつゝ温度でそこにいた人は、みんな
あとがたもなく消えたらしいです。

ぼくは、その話を聞いてこわかったです。
助かった人もほぼ大やけどをしたりして
いてほんとうにひどいんだと思いました。

ぼくは、池田さんの話を聞いて原爆は、
人々をくるしめたり殺したり大やけど

させたりするなんて、さいていだと思いました。
ぼくは、初めて原爆のこわさがありました。

池田眞徳さんへ

六年二組（高橋 沙希）

池田さんが野方小に来て戦争のお話をして下さって教科書で読んだ以上に戦争での人々の苦しみがわかりました。

原爆で体のひふがはがれたりする事は今では信じられない出来事なのに実さい過去にその出来事が起こっていた事は、ものすごくこわいです。人々の苦しみだけではなく、原爆についてもよくわかりました。原爆の火薬はゴルフボールよりも小さく少ない量と聞いて、ゴルフボールよりも小さく少ない火薬の量の原爆三つで人々の命をたくさんうばい、町をこわしてしまうのは言葉に表せないほどこわいです。

池田さんがお話をして下さったおかげで、これからの国語の授業や社会の授業で戦争についてよりよく考える事ができそうです。野方小に戦争のお話をしに来て下さってありがとうございました。

六年二組（野木あかね）

私は池田さんが来てくださるまで

「戦争なんてどうせ過去の出来事だし、原爆

も私になんか関係ないからめんどくさ

いなあ。」

と思っ、ていました。でも、お話の後は、

「戦争も原爆も何ラくもの命をうばた

り、傷をおわせる悪魔みたいなものなんだ！」

関係ないんじゃないかと、同じ日本人がそんなひ

どい目にあってるんだからすぐく関係ある

んだ。」

と思えるようになりました。それに、人の命

や動物の命、植物の命など、全ての命の

大切さをあらためて実感しました。

原爆のおそろしき命の大切さなど

くさんのことを教えてくださって本当にあり

がとうございました。このけいけんを生かして

原爆で亡くなった人の分も精いっぱい生きたいです。

池田眞徳さんへ

六年二組（野木 あかね）

七月十一日に「ヒロシマの九日間」のお話を私たちにしてくださいありがとうございました。池田さんがおっしゃったことの中で私が一番印象に残ったのは、

服も体もボロボロの人が両手をななめ前方にして歩いている。』

というところでした。原爆に関する本を読んだ時やお話を聞いてるだけでもおそろしいのに、そんなにたくさんのお化けのような人たちを実際見た人は絶対に「家に帰りたい。」と思うと思います。私だったら思うよりも家に帰っていると思います。

ボロボロで全身やけどの人か自分の方にうめきなからふらふら歩いてくる……そう思うだけで気絶しそうになります。

それにたえた人達は本当にすごいと思います。

六年二組（岩間 千佳）

おきないでほしいです。

さきほども申し上げましたが、今回野方小学校におこしくたさってありがとうございました。うごやいました。これから他の学校での公演もがんばってください。

池田眞徳さんへ

六年二組（岩間 千佳）

野方小学校にいらして下さりありがとうございました。うごぎいました。国語下は、ヒロシマのうたの授業はしていましたが、少ししか分かりませんでした。しかし、今回、池田さんのお話を聞いて、だいぶ分かりました。（経験してないので、全部分かったとは言えませんが。）その中で特に印象に残ったことがあります。池田さんのお父さんが人を助けようとしたら、人の皮膚がべロリとむけたという事です。私はその話を聞いてゾクッと思いました。人を助けようとするだけで皮膚がむけるなんて、原子爆弾はこれだと思います。でも、たぶん私か思っている以上に原子爆弾はこれだと思います。私は、これから人を助ける心を持ち、二度とこのようないことが、

池田と眞徳さんへ

6年2組 (高柳秀和)

暑いなが学校にきてくださってありがとうございます
ごさりました。ビロリンマの教科書を
読んでて文がわかりませんでした。
池田さんが学校に来てよかったです。
です。ぜひまた来てくださる
いげんばく八月十六日午後
十五分におとされました。日本全
体でろぼろした人いたと言っている
してくわてありがとうございます。
したとしてもかみしわしてきます。
ほんとうにありがとうございます。
たいまのじだいでよかったです。
戦争がもしバクダンがおちたら
人がやけどにやけどしてました。
戦争はつらいと田舎にしました。
なにかがかわるくもつしなないた
いです。

和田直徳ナ3く

0年2組 (和田実祐)

和田実祐

116番のちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
つた。ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ。

116番のちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ...
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ。

ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ

ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ

ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ
ちねをゆつり米いせかたあなうりいせしにせ

池田眞徳様へ

く年々組（福本

環

）

前週はお話いただきほんとうに感謝
しています。ぼくはあなたから聞いたことが
よく考えました。やはり戦争は絶対やめるは
いけません。いづことでも、あんなゴルフボール
ぐらいのウランを何十万人の人が命を落し
たのです。しかもたとえ生きても放射能の
後いしょうだ。心の傷で苦しんでいる人は救
えられなほどです。まことに失礼ですが、広
島や長崎で亡くなったかたび生きこいた方
は、おそらく又うろろてくたまりにたまりほくた
子供が直接受けたえかう話を聞くということは
なくなるともしれません。あなたが本でこの話を
つたよびいるようにぼくたち若い世代もこの話を
子供や孫に伝えるの悲しい話を二度くり返さ
ないようにしていかなくてはならないと思
います。とても勉強になりました。ありがとうございました
そしよすようなり。

池田眞一 徳さんへ

6年2組 (竹内 章太朗)

ぼくはとても心大的なことをしたいです。

一つはぼくはぼくが「ジー」のことをげんご
くの本と読んでここが「ありませぬ」といふことと
ちがったこと外何個もありました。死体の
判別死体のたよりで自度もおろしたこと
げんごの本の中の「なま」を知りました。

二つ目はゴルフボールのようになりさな物で
たくさんの人をおねごとがとまると
いうことを「なま」といふ大きな「ナマ」が
ボールに近いものが「ナマ」です。

三つ目はぼくはぼくはとも「ありませぬ」といふ
人をおねごとを「なま」といふ「ナマ」の
物とほしくもいふです。

比呂徳さんの話でげんごについて知ること
とができました。本と「ナマ」がとま
ると「ナマ」が「ナマ」

池田 仁圓(徳さん)

6年2組 (棟本 直弘)

あざあざ大赤々なのに野方(小)野
校まで来ていた。ただきありがとうございます。
ゼンます。今授業まではトロンの
うたせがわっています。トロンの
たがは黒々と死人と動けないの
めき土(土)なとしか書いていないけど
昔の車ではトラックに人を運ぶ
時に必ずりと皮がはがれたり、その
まうな人を穴の中に入る。ガソリ
ンでかけて火をつけてたりなどして
火(火)がすななどすごくおそろいな事もある
たつてがわかりました。それから5個
くらいあればもしかしたら日本な
破(破)かりでまうがもしおな
な原(原)子(子)爆(爆)弾(弾)もブルブル
い(い)な(な)ど(ど)い(い)ろ(ろ)な(な)事(事)も(も)教(教)え(え)て(て)下(下)さ(さ)る(る)
あ(あ)り(り)が(が)と(と)う(う)に(に)ま(ま)い(い)ま(ま)した(した)。

池田と貞徳さんへ

6年2組(宇田川比菜乃)

この前はヒロシマの戦争についてお話して下さりありがとうございます。池田さんの話を聞いて戦争についてよく分かりました。そして、その中でとくにひどく、くりしたのが、ゴルフボールだけでヒロシマを地獄にしましたことです。ゴルフボール何個かで何千人、何万人もの人を殺してしまいました。体がふるえました。日本だけ原爆を落とされ、何万人もの人達を殺してしま、
ことしても悲しうが、たゞす。また、まだ生きているけれど皮はとれ、手をのばして歩いている人達を、想像すると、もうじき、ともこわいです。戦争がほんなに
こゆいか、どんなに苦しいかお話ししてくれて本当に
ありがとうございます。私たちも、戦争で悲しみに
に亡くなてしま、た人のことを考え、これから
生きていきます。

池田真徳さんへ

六年二組 (中) 里菜

ヒロシマの九日間で私は改めて原爆がおとされた
近くはまっ黒でウジムシなどがわいてもいいけど地
ごくなのが感じました。3000° くらいはそこそこつさま
せん。私は戦争のことをあまくみていました。戦争のこと
よくしらずあまり考えたことがありませんでした。でも、話をうかがってよく考ええるようになり
ました。人々はいたく苦しんで死んでいく。しかも
それをたいけんした人は今生きてて、その人の方
がその時の死人のようすが黒々とした人などい
たのを思い出したりする。えがどまらなくなると
かもしゆきせんニンかいお話をしていた。ただ、ま
り戦争のことがわかりました。

野方山に来ていただきありがとうございます。
でした。

池田と具徳さんへ

6年2組 (横江 遼太郎)

戦争はたくさんの方が死んでいく悲しい
惨なことをおぼえていました。しかし池田さん
から話を聞いて、ううでの皮がテロリとはがれ
ていたり、全身大やけどをしていたり。戦争
は本当におそろしいことだとハッキリ思いました。

池田さんの父は戦争を体験していて、爆
風でぶっ飛ばされたときも、仲間がトラックに
乗っていたときも助かってすごいらと思いました。
ドラム管とトンネルでくっせんに助かるたぶん
てぼくは本当にきもち悪いと思いました。げんげん
もすごかったです。ゴルフボールよりも少し小さい
ものがそこまでの被害をおよぼすなんて

考えられないと思いました。そしてその爆死し
たときの熱さがすごいらと思いました。一番熱い
ところは太陽のまわりの面なんてすごいら熱いさだ
と思いはよした。いろいろな戦争のことを教えることで
ありがとごいりました。戦争のことを知ることができました。

六年二組（小科 拓 毅）

ないほどいるんだから、自分が思っていたおそろしさよ
り何百倍も何千倍もおそろしいことが分かりまし
た。私は人を殺すということが許せません。なので、もう
二度と同じようなことは書かないでほしいです。

六年二組（小林 佑歌）

この前はわざわざ野方小学校に「ヒロシマの九日間」の
のことにっいて話して下さり、ありがとうございます
ました。今、「ヒロシマのうた」の授業をしていると
申です。けねごま、たく想像のつかないことばかり
りでした。そして、池田さんから話を聞いたら、もう
聞けないほど怖くなりました。話をしてくれてい
ると申などには、もう怖くて怖くてたまらなかつた
です。それに、うそだと思、たことも何度があ、たけ
ねど、そねが本当のことな訳だから、とてもおそ
ろしかたです。原ばくは、ゴルフボールよりも小さ
いんですよ、ね、あんなに小さいのに、ヒロシマ全体を
破がいてしま、うと聞いて、も、とメキがた、ら、。と思、う
と、とてもおそろしいです。私は、戦争なども、う、うに、
戦、う、た、「家が燃える」などしか考えてい、な、た、け、ど、
せ、く、な、た、人、が、是、の、ふ、み、場、も、な、い、ほ、ど、い、て、そ、ね、が、の、っ、
へ、ら、ほ、う、た、り、塵、が、は、が、ね、て、い、た、り、し、て、見、て、ら、ね、

池田眞徳 さんへ

六年二組（角 風音）

先日はおたし達のために「ロシマの九日間」をはなしに来て下さりありがとうございました。学校で勉強した「ロシマの星」と今回の池田さんのおはなしを見比べて「采田」わりあつろしいと思つた事は人が溶けてしまつほどの熱い火があつたといつことでは。最近暑口が続いていますがこんな暑さとは化がられるよふな熱さではないでしよう。もう熱いいなんて言つてられないですよ。体験している訳ではないのでよくは分かりませんが熱すぎて熱くなかつたりするのかなと思つたりもします。

今回のお話は少しむづかしかったです。原ばくのおそろしきは国語の授業のときよりよく分かることができました。もつ六年なので、もつと深く考えようと思ひます。本当にありがとうございました。

池田と眞徳さんへ

六年二組 (秋元実代子)

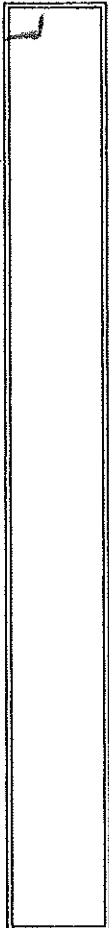
金曜日(き)てくた(た)り(り)あ(あ)り(り)が
と(と)う(う)ら(ら)ま(ま)じ(じ)た(た)。

あ(あ)た(た)し(し)は(は) 広(ひろ)島(しま)の(の)原(げん)爆(ばく)し(し)っ(っ)
い(い)て(て)よ(よ)く(く)わ(わ)か(か)り(り)ま(ま)じ(じ)た(た)。

戦(せん)争(そう)と(と)は(は) 今(いま)も(も)つ(つ)ら(ら)い(い)し(し)と
も(も)わ(わ)か(か)た(た)し(し)に(に)と(と)戦(せん)争(そう)は(は)
あ(あ)き(き)こ(こ)は(は)な(な)ら(ら)な(な)い(い)し(し)も(も)わ(わ)か(か)
り(り)ま(ま)じ(じ)た(た)。

あ(あ)と(と)原(げん)爆(ばく)の(の)お(お)ち(ち)た(た)あ(あ)と(と)の(の)雲(うみ)が
き(き)の(の)し(し)り(り)な(な)ら(ら)な(な)い(い)し(し)と(と) 広(ひろ)島(しま)の(の)
お(お)と(と)し(し)れ(れ)た(た)バ(バ)ク(ク)ダ(ダ)シ(シ)は(は)ナ(ナ)ン(ン)ゼ
ン(ン)庶(じょ)又(また)な(な)と(と)お(お)話(わ)を(を)聞(き)い(い)て(て)よ(よ)
く(く)あ(あ)か(か)り(り)し(し)れ(れ)か(か)ら(ら)の(の)国(こく)語(ご)の(の)勉(めん)強(きやう)
に(に)と(と)こ(こ)も(も)や(や)く(く)た(た)っ(っ)て(て)い(い)く(く)と(と)思(し)
う(う)の(の)で(で)お(お)話(わ)を(を)聞(き)い(い)て(て)よ(よ)か
っ(っ)た(た)で(で)す(す)。





年組()

一度、ヒロシマの九日間を、読んで考え
直してもう二度とこのようないことがないを
とを、おがいたいです。この事を、お話しして
くちやうで、おりがとうございました。これから
モリソン夫人にこの事を、伝えてあげてく
ださい。おろすれば、せん争は、まうこうな
りし平和になるのでよろしくおがかりしま
す。本当に、おりがとうございました。

池田貞徳さんへ

六年二組（山口摩人）

ぼくは一度お母さんにすすめられてヒロシマの九日間を読んだ事があります。全部は読めませんでした。ぼくはその時、このお話を聞いてびっくりしか思わなかったけれど、今回お話をうかがって、世間争いのつらさ、非心さんをよく知る市子が出来ました。ぼくはお話を聞きながら、二つの市子を考えてきました。一つ目は、もし原はくが東京に落ちたら、みんな死んでしまい自分も死んでしまう。もし自分が生き残っても、周りをみると、きっと何もなくみんなのあめき声か、キーンと地獄にいらるような感じがすると思う、という事です。二つ目は、大がけの生きもののこつている人のよろうです。お話しは、うごきをかむとかむとすべり、落ちると聞いておそろしかたです。ぼくは、そのうごきとつかむところ、お話を聞かされたお話を聞かされた。このお話を聞いて、もう

池田貞徳さんへ

6年2組 (福田智子)

私は池田さんの講演を聞いてロミマであた
本当に非ザンな出来事に近づけたと思いました。
私達は本当の地獄を知りません。

ロミマのうたを初めてほんの少し知たくらうていた。
今回池田さんのお話では、前よりかも大きく前進してい
ました。たかさんの口がさかえられた原はくはゴリッ
ボールころいのウラがメスこいただけだとされだけ多くのマ
が建物を消してしまふほどの力はまだまだあると田ジニ
ます。世界はただ一つ原はくをおとされた国は他の国に
1の非ザンキヤンをもっともったえなさいといけななと私も
田ジにました。これからたかさんの場所を回ると思っ
ます。たかさんの入りにこの原はくの事をつたえよう
と田ジにます。

かんばつとトナリ、ナメうなう。